

島根県看護連盟だより

TWO HEART

ワーハート

2018/9/30

第48号

石田 昌宏
まさひろ

参議院議員

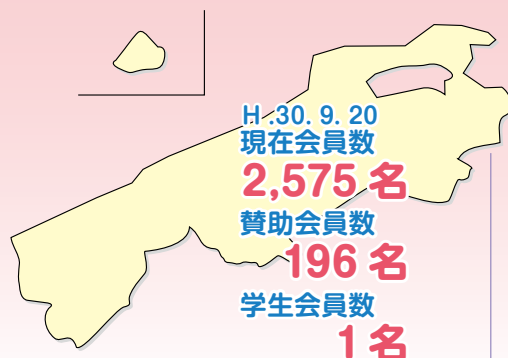
現場で働く一人ひとりの声を届け、
よりよい看護ができる環境をつくっています。

看護を力に。

INDEX

「国会で代表質問する石田まさひろ参議院議員」

- 島根県看護連盟会長挨拶 …… 2
- 石田まさひろ議員 自民党公認候補決定 …… 2
- 日本看護連盟総会 報告 …… 3
- 名誉会員おめでとう …… 3
- 国会議事堂見学 報告 …… 3
- 島根県看護連盟総会 報告 …… 4
- 傷害保険加入について …… 4
- 新支部長あいさつ …… 4
- 選挙ミニ知識 …… 5
- 石田まさひろを応援する会入会のお祝い …… 5
- 島根県看護連盟会員入会案内 …… 5
- 石田まさひろ議員 施設訪問
現場の声を届ける会 報告 …… 6 ~ 7
- 第1回リーダー研修会 報告 …… 8
- 一般研修会 報告 …… 8
- たかがい恵美子議員と直に語る会 …… 9
- 青年部活動報告 …… 9
- *日本看護連盟総会・国会見学
*中国・四国ブロックポリナビワークショップ in 島根
- 会員施設の紹介 …… 10
- お知らせコーナー …… 10
- 編集後記 …… 10



発行：島根県看護連盟

発行責任者：会長 川合政恵

〒690-0049 松江市袖師町 7-11 看護研修センター内
TEL (0852) 27- 6361・FAX (0852) 27- 6417
E-mail: shima-kangoren @ vesta.ocn.ne.jp

連盟活動への「理解」と「行動化」で医療現場の よりよい環境づくりに繋げて参りましょう



島根県看護連盟 会長 川 合 政 恵

日頃より看護連盟の活動にご理解とご支援をいただきありがとうございます。

7月の豪雨災害、9月の台風21号、北海道地震により被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げますとともに、少しでも早く復旧・復興が進みますよう願ってやみません。

6月23日 島根県看護連盟通常総会において30年度事業計画について承認を得ました。今年度は、来年行われる第25回参議院選に軸を置いて、今まで以上に“政治への関心を高める”“組織力の強化を図る”など取組まなければならない課題がたくさんあります。連盟活動が看護協会の提言の法制化、看護の制度的な環境を整えるために、看護の専門職として心して価値ある活動への関心とご理解をいただけるよう取組みたいと思います。多くの看護職の皆様に連盟が行う事業に参加いただき、連盟活動が医療現場のよりよい環境づくりと繋がっているのを感じ取っていただけるよう、会員の皆様の協力を得て研鑽しなければならないと常々思うところです。

過日、7月21・22日に県西部・東部でリーダー研修会を開催し、「看護職の教育・仕事がいかに政策の影響を受けているか理解できた」、「仕事と政治との繋がりが理解できた」、「連盟活動の歴史や成果を知らなければならない」など、“理解レベル”の発言が多くありました。こうした研修での理解が言葉として他者に伝えられ、リンケージすることで活動が浸透していくことを期待します。そして最も重要なことは、“理解レベル”が来年の参議院議員選挙に向けての“行動化”に繋がっていくことです。選挙戦で成果を成し遂げるには、連盟活動への関心と理解、行動化であります。支部活動と連動し、会員の皆様とともに地道に、そして確実に取組んでいきます。

8月6日には石田まさひろ参議院議員と語る会を開催し、現場からの問題提起や政策への疑問点・要望等が熱心になされ、政治、政策への関心の本気度を感じました。

9月1日には中国四国ブロックポリナビワークショップを石田まさひろ議員を迎えて開催しました。170名余りの若手看護師等が島根で縁をつなぎ交流を深めました。シンポジストの方々から、若者らしく現在から未来への看護の創造が語られ、グループワークでは未来を担う逞しい若者達の意見交換がされました。9県の実行委員の皆様に運営へのご協力をいただき感謝申し上げます。島根の実行委員の企画・運営も立派でした。チーム力で素晴らしいワークショップを成し遂げたことは、島根の連盟活動の宝になりました。

看護連盟は医療現場のよりよい環境づくりを目指して、後援会活動に重点的に取組んでいきます。引き続いて、「石田まさひろを応援する会」への入会活動にご協力をよろしくお願いいたします。



お知らせ

石田まさひろ議員 自民党公認候補(比例代表選出議員)決定!!

第25回参議院議員選挙の自民党候補予定者が、7月20日に発表されました。選挙区37人(現職35人・新人2人)、比例代表19人(現職15人・新人4人)の56人が一次公認されました。

平成30年度 日本看護連盟通常総会が開催されました

代議員 出雲第2支部長 曾田 美佐子



6月5日、ザ・プリンスパークタワー東京において平成30年度日本看護連盟通常総会全国から1700名余、島根県からは会長をはじめ代議員12名他、総勢32名が出席しました。

冒頭、草間会長から開会挨拶があり、「日本看護連盟は山積する看護の課題を明らかにし看護政策の実現を目指す、まさに『行動する組織』である。そして、力強い組織を目指していくために一人ひとりの会員が結集し、看護を社会に認識してもらう必要がある。看護政策実現のためには、政策決定の場である国政に看護職の代表を確実に送り出すことが必要である。」と話されました。また、福井トシ子看護協会長は看護協会事業を推進し様々な課題解決のために看護職が結集することを呼びかけられました。

第1号議案の名誉会員の推薦に全国から6名の推薦があり、島根県からは松浦昌代前島根県看護連盟会長が栄誉ある表彰を受けられました。第2号議案で日本看護連盟規約改正案が審議されました。大きな改正事項は総会代議員数と日本看護連盟役員任期の変更でした。代議員数を現在の会員200人に1人から400人に1人とするには反対意見もありましたが、多数決で採択されました。第3号議案はスローガン「ベッドサイドから政治を変える！一人ひとりが成熟・自律した活動をする」ことが採択されました。第4号議案 事業計画では、重点方針を1. 力強い組織の創成、2. 成熟・自律した活動とし、組織力の強化・拡大を目指すこと、そのための会員増員目標数を1万人、入会率各県30%以上とすること、また、ブロック協議会の活動の強化、支部組織の活動強化、若手会員の育成などが上がりました。政策実現力の強化として組織内候補予定者の支援の計画に沿った更なる強化を図ることなどが採択されました。

総会終了後、たかがい恵美子参議院議員の国政報告会があり、続いて次期参議院議員選挙に向けて決起大会がありました。石田まさひろ議員は参議院厚生労働委員会の審議中であり、来られませんが、ビデオメッセージで熱い思いが伝わりました。



**名誉会員
おめでとうございます**
平成30年度 看護連盟名誉会員
松浦 昌代 氏



国会見学 報告



国会見学に行きました

松江赤十字病院 河瀬 裕子

日本看護連盟通常総会の翌日、国会見学に行きました。見学前の待合ホールに衆議院議員竹下巨先生、細田博之先生、県選出の議員秘書の方が挨拶に来て下さいました。

当日は参議院本会議開催中であり、短時間でしたが傍聴することができました。本会議を間近で見ることができ、議

会の臨場感を味わうことができました。

その後、たかがい恵美子議員と石田まさひろ議員の事務所を訪問しました。秘書の方に優しく迎えていただき、議員の椅子に掛けさせてもらったり記念撮影をさせてもらったりしました。デスクの上には山のように書類が積み、多くの課題を解決するために日々活躍されている様子を思い浮かべることができました。

議員会館売店で国会グッズのお土産を買って帰りました。



平成30年度 島根県看護連盟通常総会 報告

日時：平成30年6月23日(土) 13:00～16:00

場所：パルメイト出雲

島根県看護連盟通常総会を出席人数212名（内役員11名）委任状1979名、計2191名で開催しました。

総会議事進行に先立ち、あべ俊子衆議院議員より「国政報告」と題して特別講演をして頂きました。

総会は議長団選出後、報告事項に続き、第1号議案のスローガン案、第2号議案の事業計画案、第3号議案の予算案、第4号議案の選挙対策案、第5号議案の役員選出案の審議に入りました。重点目標を「組織力の強化を図り集票力のある組織をつくる」「看護政策を実現できる政治力を持つ」とし、従来からの活動を継続して行っています。新たな事業として、今年度は連盟活動を推進するにはトップマネジメントする人の理解が必須であり対象者に研修をすること、また会員の活動中の事故への対応のために傷害保険と賠償責任保険に加入することなど、すべての事業計画・予算についても案通り賛成多数で可決となりました。

選挙対策案については、参加者より「前回選挙では得票数が会員数以下という結果だったが、次期参議院選挙に向け高い票目標数を達成するにはどう対策するか。」という意見がありました。会長より「得票数の目標数値は各支部からの目標数を合算したものを

根拠にしている。協会員数に対し連盟会員数は低いが、会員一人ひとりが努力して確実に票を得るようお願いしたい。」と答え、浜田支部長からも支部での取り組みについて述べ、賛成多数で可決となりました。

総会終了後、次期参議院議員選挙に向けて決起集会を行いました。



特別講演 あべ俊子衆議院議員



— 島根県看護連盟活動における傷害保険加入について —

- 保険の概要… 看護連盟行事参加中（ご自宅から出発して帰宅するまで）に「急激かつ偶然な外来の事故によって身体に被った傷害」に対して支払われる保険
- 被 保 険 者… 島根県看護連盟が指定する行事（総会や研修会等）に参加した会員
- 保 険 条 件… 死亡後遺障害保険金額 135万円 入院保険金日額 2千円

平成30年度 新支部長あいさつ

千鳥支部長

カネ ツキ
金 築 初 枝



平成30年度から千鳥支部長をお引き受けいたしました金築です。これまで現役看護師として看護連盟に関わって参りました。その中で、OB会員の皆様を中心とした千鳥支部のパワー溢れる活動の素晴らしさや人との絆の深さに、いつも感動しておりました。

この度、その諸先輩たちの元で一緒に活動できることを、本当に嬉しく思っております。諸先輩のこれまでの努力を無駄にしないよう頑張っていきたいと思いますので、どうか今後とも千鳥支部へのご指導・ご協力をよろしくお願い致します。

また、来年は看護職の代表を国政の場に送り出す重要な役割を担った年になります。そのための活動を支部役員一丸となって頑張っていきますので、重ねてこれまで以上の、ご支援・ご協力をお願い致します。



選挙に行こう！ 投票しよう！



あなたは「選挙なんて関係ない」「私の1票で何かが変わるわけではない」なんて思っていないか？

選挙結果は一票一票の積み上げです。あなたの一票を無駄にしないで選挙に行きましょう。自分が支持する候補者を当選させ、その人を通して政治に反映してもらいましょう。

— 参議院議員選挙の仕組み —

参議院は衆議院と異なり解散がなく、任期は6年と定められていて、3年毎に定数の半数が入れ替わるよう選挙が行われます。参議院選挙では各都道府県の区域を単位とした「選挙区選挙」と、全国を単位とした「比例代表選挙」があり、有権者はそれぞれに投票します。

今年の7月に改正公職選挙法が成立し、第25回参議院議員選挙では新たな仕組みでの選挙になります。

比例代表の特定枠は、政党の決めた順位に従い、候補者が優先的に当選する仕組みです。

* 改正公職選挙法 *

- ① 選挙区選出の定数が2増で148
(埼玉選挙区定数2増)
- ② 比例代表選出の定数が4増で100
- ③ 優先当選できる特定枠制度の導入

* 特定枠以外の比例代表の候補者は、選挙で得た個人名票の多い順位に当選となります。

* 投票用紙には候補者の名前を書きましょう。

* 自分が支持する候補者を当選させるためには、あなたの1票が大切です。

看護師の「石田まさひろを応援する会」への入会のお願い

看護連盟会員の入会率100%を目指しています。

「応援しているよ」「わかっているよ」と言いながら、まだ出していない人はいませんか？そして、ご家族、ご友人、知人、同僚の方、多くの方の入会者をご紹介下さい。

未記入の入会用紙はコピーOKです。

手元にないときは、島根県看護連盟か各支部長までご連絡下さい。



平成30年度 看護連盟会員 募集中

あなたの力が連盟活動を支えます

看護連盟は看護と国民の健康福祉の問題解決を推進しています。

正会員	年会費 9,000 円	本部会費 5,000 円、県会費 4,000 円
特別会員	年会費 9,000 円	正会員の経験を有し未就業で看護協会員でない方
賛助会員	年会費 1,000 円	看護連盟の主旨に賛同していただける方であれば、どなたでも入会できます
学生会員	年会費 無 料	就学している看護学生の方

お問い合わせ

事務局

TEL (0852) 27-6361 FAX (0852) 27-6417 E-mail: shima-kangoren@vesta.ocn.ne.jp

石田まさひろ参議院議員 施設訪問・ 「現場の声を届ける会」を開催！



山陰では経験したこともない猛烈な暑さが続くなか、8月6日石田まさひろ参議院議員が来県、現場の声を聞く機会をもちました。今回の訪問先は県東部9つの病院。看護職員をはじめ病院関係者の皆様にもごあいさつや同席をいただくなど、短時間ではありましたが充実した届ける会となりました。日頃、業務に当たっているなかでの疑問点や現行の医療制度への意見・要望、夜勤問題、処遇改善、働き方改革等に関することが多くだされました。議員に直に疑問点など答えていただき、交流の機会がもててよかったという声が寄せられています。

(貴重な意見を多数いただきましたが、紙面の都合上、一部を紹介させていただきます)



▼▼▼▼▼ 石田まさひろ議員に届けられた医療現場の声 ▼▼▼▼▼

〈看護師等の働き方・

夜勤問題をめぐっての意見・要望〉

- * 子育て世代は夜勤の制限があり、40歳・50歳代が夜勤をしている(50代が50%)。50代となると体力的なことも考え、夜勤回数を減らしていきたいが難しい。
- * 看護補助者の確保が難しい。特に夜勤ができる人。当院では看護補助者は嘱託職員。正規となれば就労希望者があるのではないか。正規職員としての雇用を交渉はしているのだが。看護補助者は35%が60歳代である。
- * 子育て世代の働く環境はよくなったが、夜勤者の確保が困難。夜勤のできる看護師が足りない。(多数の意見)



平田文化館



島根県立中央病院

〈地域医療に関する意見・要望〉

- * 夜間の喀痰吸引ができる周辺の施設は増えていない。そのため夜間の喀痰吸引が必要な患者を受け入れてもらうことが難しい。
- * 在宅、施設での看とりが難しい状況で、最後は病院というところがまだまだ多い。
- * 内科医が常駐していない。
- * 独居高齢者や高齢夫婦だけの老老介護の方が多く、自宅に帰ることができず、地域の受け入れ先もない。
- * 精神科病棟において退院支援をする中で、外泊訓練も大きな役割であるが課題が多い。繰り返し長期外泊を試みるが、診療報酬上では、外泊中は入院費が減算になってしまう。その間病床を空けておくわけなのでどうにかならないか。



出雲市立総合医療センター



島根県立こころの医療センター



〈診療報酬制度についての意見・要望〉

＊ 30 年度診療報酬改定で 2 次救急指定病院には夜間の救急外来看護師配置、ドクターヘリ等の受け入れについて加算が設けられたが、3 次救急指定病院は対象外である。フライトナース、トリアージナース、ER ナースは専門性の高い看護の提供を目指し修練している。24 時間高度な救急医療を担う看護ケアを評価し、3 次救急指定病院に対する夜間の救急外来看護師配置についての加算を要望したい。



＊ 外来入院受入れ時から看護記録が多く看護業務の多くを占める。直接的ケアに係わる時間の圧迫や超過勤務につながっている。

＊ リンパ浮腫ケアの成果をデータで蓄積している。診療報酬での評価を要望する。

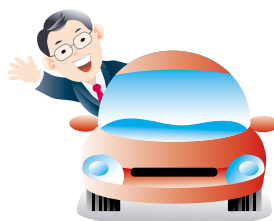
＊ 摂食嚥下障害の患者が多い。看護師が時間をかけて食事介助に当たっているが摂食機能療法について評価がないのは納得いかない。

＊ 精神科における療法として OT、SST は、大変有効な療法であると実感している。しかし、同日に OT、SST を実施しても両方は算定できない。SST は有資格者が複数名で取り組み、計画性をもち労力を要すが、OT を算定すると、実施した SST は算定することができず、労が報われない。

＊ 精神科作業療法は 2 時間を 1 単位として運用しているが、2 時間は患者への負担が大きく、急性期対応への遅れを招く課題がある。個別の関わりに転換し急性期からの早期対応を充実させることで、回復と退院を促進することにつながる。

〈看護協会関係〉

＊ 看護師による医療情報の研究を進めるために情報系の修士課程を整備し、看護情報の分析ができる看護職を育ててほしい。



島根大学医学部附属病院



JCHO 玉造病院



松江市立病院



日立記念病院



安来第一病院



松江赤十字病院

看護連盟は医療現場の声をお待ちしています。

現場の声は …

- 看護の代表議員に届ける。
- 島根県看護問題議員連盟を通して要望する。
- 島根県看護協会と情報共有し、島根県医療行政に届ける。
- 日本看護連盟へ情報提供する。

など、看護現場の声が施策に反映されるよう取り組みます。



第1回 リーダー研修会

- 日時：平成 30 年 5 月 26 日(土) 13:00～16:30
- 場所：ホテルニューウェルシティ出雲



長崎県看護連盟顧問
金澤 きみ代 氏

看護連盟活動の推進のためには日本看護連盟、県連盟、支部、施設、会員間の連携が大切であり、会員との橋渡しの任にある施設幹事やリーダーの役割はとても重要です。その為、年2回のリーダー研修を行っています。

今年度の第1回目のリーダー研修は、活発な連盟活動を展開され選挙では全国一の実績がある長崎県看護連盟顧問（前会長）金澤きみ代氏を講師に迎えて研修を行いました。

長崎県看護連盟の組織運営や選挙への取り組みを具体的にお話して頂きました。参加者アンケートには「データを可視化され分かりやすかった」「具体的な活動と結果や問題を提示されとても参考になった」など多くのコメント記載があり、全員が参考になったと評価しました。



研修会に参加しての感想

松江赤十字病院 秦 美香子

今回、第1回リーダー研修に参加し、日本看護連盟幹事である金澤きみ代先生の講演や「次期参議院選挙に向けて自分はどう行動するか」というテーマでのグループワークから自施設での自分の役割や今後の行動について再度考える機会となりました。看護の未来について考え、連盟の活動や目的について語り伝えていく必要性を実感することができました。ありがとうございました。



一般研修会



NPO法人看護職キャリアサポート
フリージア・ナースの会 会長
大島 敏子 氏

〈 県東部会場 〉

- 日時 * * * * *
7月21日(土) 13:00～16:30
- 場所 * * * * *
ホテルニューウェルシティ出雲

〈 県西部会場 〉

- 日時 * * * * *
7月22日(日) 13:00～16:30
- 場所 * * * * *
益田地域医療センター医師会病院

多くの看護職に看護連盟活動を正しく理解してもらうことを目的に、大島敏子先生を講師に迎え、「看護連盟活動と看護の過去・現在・未来」と題して、講演していただきました。大島先生の研修は昨年もリーダーを対象に行いましたが、その際に連盟未入会者を含め多くの看護職に聞いてもらいたいという要望があり、今年度は東部と西部の2会場で開催しました。



研修会に参加しての感想

浜田支部幹事 小笠原 詞子

大島先生の講演で看護協会と看護連盟の存在意義や、看護政策実現することで「看護の地位・質の向上」「働く環境づくり」「人々への良い看護の提供」に結びつくことがよく分かりました。また、看護連盟会員ハンドブックを使用し、看護の代表議員による主な実績やこれまでの歴史を知ることにより、一層守らなければならない事、更に進めなくてはならない事が実感できました。

GWでは自分達にできることを確認しました。大島先生の話の中で印象的だったのは、「動いていく仕組みづくり」「知ることがスタート、研修に行けば伝えていく」「行動を起こさないと結果が出ない」「ぐちで終わらせない、糸口を探すことが更なる連盟活動になり、私達の行動が次の人達の為になる」という言葉でした。今私達が看護師として働けているのも今まで頑張ってきた代表議員や先輩看護師の御陰ですが、私達自らもこれから働く人の為、更には国民の為にも常に問題意識を持ち、形に替えていかなければならないという決意を持つことができた研修でした。



「たかがい恵美子参議院議員と直に語る会」

9月2日(日) ホテル白鳥(松江市) に於いて、「たかがい恵美子参議院議員と直に語る会」を開催し、病院・訪問看護ステーション等から看護管理者 24 名の出席がありました。

たかがい議員の国政報告の後、参加者が現状や課題について意見を述べました。人材確保の問題、地域連携の問題、在宅ケアでの問題、災害時にも対応できる薬剤管理の仕方、訪問看護での複数訪問の拡大や情報提供のための同行時の診療報酬への

要望等、多岐に亘る意見がでました。

たかがい議員からは、現場の問題等を整理して必要事項を政策に繋げるようにアドバイスがありました。貴重な現場からの意見が活かされるよう取り組んで行きたいと思います。



【青年部の活動報告】

日本看護連盟通常総会、国会見学に参加して

島根県立中央病院 安部史成



私は青年部の役員になるまで看護連盟と看護協会の違いがよく分からずにいました。昨年から青年部役員になり、看護連盟の役割やこういった活動をしているか、少しずつ分かるようになりました。今回、日本看護連盟通常総会に参加し、参加人数の多さに驚愕しました。2000人近い看護連盟の看護職が総会のために集まっていました。

現在職場では、人手不足や時間外労働など様々な問題を抱えており、看護師一人が訴えたところでなかなか政策は変わりません。看護職の代表議員が現場の声を反映して打ち立てた政策を出すことで解決に繋がっていきます。その為には選挙で看護職の代表を出すことが重要であり、看護連盟の活動が必要であることが分かりました。

しかし、総会で配られた資料にありましたが、島根県では看護協会員の半分の人数しか看護連盟に所属していませんでした。全国でもほとんどの県が半分以下の比率という現状でした。私が今回の総会に参加して感じたように看護連盟の働きを知ってもらい、会員になってもらうことが、私たち看護現場の問題解決に繋がっていくのではと思います。

2日目の国会見学は普段行くことのない場所であり、とてもいい経験になりました。2日間を通して学んだことをこれからの連盟活動に活かしていきたいと思いました。

第4回 中国・四国ブロックポリナビワークショップ in 島根

日時：9月1日(土) 13:00～16:30

場所：ホテル白鳥(松江市)

今季晴天続きだった松江市でしたが、開催前夜には大雨警報が出て予定通り行うことができるか心配しました。幸い当日は雨も上がり、他県からもたくさんの方が来て下さいました。しかし、残念なことに前夜の豪雨の影響で山陰本線が運休になり、益田市の方は一部出席ができませんでした。

約170名の若者が集い、看護の未来について考えたり仲間と交流を深めたり有意義な時間を過ごすことができました。(詳細は後日別途ご報告致します。)



石田まさひろ参議院議員の講演



弥栄福祉会 養護老人ホーム 寿光苑

施設長代理・看護師 小笠原 詞子



施設紹介も2回目になりました。今回は、5月から「施設薬剤業務」を導入したのでご紹介します。養護老人ホームの看護師の配置基準は、入所者50名に対し1名です。施設の看護業務の中で圧倒的に時間をとるのが「投薬準備」です。また、誤薬のリスクも高く緊張度の高い業務になります。そこで、弥栄中央薬局の増田浩之先生に相談したところ、当苑内での配薬準備、服薬指導、治療薬物のモニタリング、医師に対して積極的な処方提案など、嘱託医（弥栄診療所 阿部顕治医師）、施設看護師、薬剤師、入所者と連携がとれ、看護師本来の「入所者サイド」にいる時間が増えました。

増田先生は、「これからの薬剤師は薬局という建物内にいる事だけが薬剤師の仕事ではなく、外へ出かける薬剤師でなくてはならない」という姿勢で仕事をしておられます。人口1300人の弥栄町世帯のほとんどの場所を知っておられることからわかるように、フットワークが軽く、相談にもすぐに応じてもらえ、とても信頼があります。また、認知症カフェや、生活習慣病防止のため、週1回スポンジテニスを開催し、調剤ということだけでなく、住民の生活や疾病予防の視点、薬剤だけに頼らない改善手段を自ら主導して活動されています。

このように、施設内で行わなければならない配薬業務を、専門の外部薬剤師が行うことは、領域を超えた活動になりますが、弥栄町は色々な事業所の枠を超え、少ないマンパワーで最大限のチームワークで働いています。それは全ての町民や、施設入所者の為でもあり、私たちの誇りでもあるのです。



※施設のPRの場として活用して頂ければと思います。掲載希望の施設は、島根県看護連盟までご連絡下さい。

Information to Heart

【研修・行事予定】

月	日	曜日	行 事	場 所	講師 他
10	6	土	看護管理者研修会 (島根県看護協会・看護連盟合同)	島根県看護研修センター	勝又 浜子 氏
10	13	土	大田支部研修会(大田支部 協会・連盟合同)	大田市立病院	川合 政恵 氏
11	10	土	中国・四国ブロック協議会	徳島市	石田 まさひろ 氏
11	11	日	看護管理者・教育者看護政策セミナー		井伊 久美子 氏 他
11	17	土	新人研修会	ビッグハート出雲	秦 美恵子 氏 川合 政恵 氏、青年部
11	17	土	出雲地区三支部合同研修会	朱鷺会館	松浦 昌代 氏
12	1	土	雲南支部研修会	三刀屋町農村改善センター	川合 政恵 氏

睡眠セミナー

無料サービスのご案内

東洋羽毛

良質睡眠でキラキラ輝く私に！

＊— 今よりもぐっすり、幸せな毎日のためのヒントがきっと得られるはずです —＊

睡眠セミナー講師を無料で派遣いたします。

東洋羽毛では「睡眠健康指導士」の資格を有した社員が講師を務める充実したセミナーをご用意しています。正しい情報を得て睡眠習慣を見直し、イキイキと健康的な毎日を歩むお手伝いをさせていただければ幸いです。

《テーマ例》

- ★ 睡眠習慣を整え、キラキラ輝く私に
- ★ よく眠れる、眠りのお話！？
- ★ よりよく眠るためのヒント 睡眠6カ条
- ★ 眠る門には福来る！
- ★ 体内時計を整えてよりよく眠る方法
- ★ 早起き・早寝・朝ごはんっていい事いっぱい

◎医療安全対策研修、メンタルヘルス研修、学校保健委員会に対応した内容も行っています。

TUK 東洋羽毛中四国販売株式会社

島根営業所 ☎ 0120-996104 〒690-0055 島根県松江市津田町316-2



編集後記

猛暑続きだった夏も終わり、秋らしい気候になってきました。季節の移ろいは早いものです。

早くから始めた「石田まさひろを応援する会」の入会促進活動も、残り8～9か月です。入会目標数にはまだ届いていません。皆で声を掛けて入会者を増やしましょう。

来春には統一地方選挙もあります。投票率が高い島根県ですが、若い人の投票率は決して高いとは言えません。大切な一票です。必ず投票に行きましょう。

担当 川合、宮本、岡田、浅津